

お互いを活かし合うための人権シリーズ②

ハラスメント・しない、 させないための 双方向コミュニケーション



上映時間26分

DVD 本体価格 66,000円(税抜)
[C#3513]

解説書・ワークシート付き
字幕・副音声版付き



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

いま、企業にとってハラスメントを防止することはとても大きな課題になっています。ハラスメントが発生すると、職場の環境が極端に悪化し、社員のモチベーションが下がるだけでなく、企業への社会からの信頼も大きく低下してしまいます。

人は、一人一人感じ方や考え方が違います。ハラスメントを防止するためには、双方向のコミュニケーションが大切です。ハラスメントをしないためには、相手の立場を尊重した上で自分の意思をきちんと伝えることが大切ですが、ハラスメントをさせないコミュニケーションの可能性もこの作品では描いています。

自分にも、思い込みや偏見があるかもしれないことを自覚するのは重要です。そしてその先に互いのズレを修正していく双方向のコミュニケーションがハラスメント防止にとって重要なポイントになるという視点のもと、ハラスメントの入り込む余地を与えない、新しいコミュニケーションの形を提案します。



CHAPTER 1 セクシュアルハラスメント ～アウトに気づく・アウトを知らせる～

男性ばかりの営業部に異動してきた、若い女性社員の徳丸。部長の堀内は、徳丸に早く職場に馴染んでもらうためのコミュニケーションをはかろうと考えた。徳丸が、雑誌に載っているケーキに興味を持っていることを知り、ケーキをご馳走すると誘う。徳丸が断ると、一人で残業している徳丸のデスクにケーキを持って現れる。不快になる徳丸に気づかない堀内。この二人のコミュニケーションのズレから、どのような相互不信が生まれたか、それをハラスメントにしないためにはどうすればよいのかを提示する。

CHAPTER 2 マタニティハラスメント ～言葉は、お互いのために～

妊娠し、つわりに苦しんでいる恩田に、上司の天野が業務の指示をしている。天野は出産経験もあるので、恩田に気遣いながらも同僚と業務を分担するなどの方法を恩田に提示した。しかし、数日後、恩田は急なつわりで会社を休んでしまう。翌朝、仕事を全うできなかった恩田に「責任を持ってくれないと他の人に迷惑がかかる」と言う天野。その言葉に傷つき、恩田はトイレで号泣してしまう。この二人のコミュニケーションのズレをテーマに周囲のかかわりも描き、ハラスメントの状況にならないための双方向のコミュニケーションについて考えていく。



CHAPTER 3 パワーハラスメント ～違うからこそ、伝え合う～

宣伝課長の渡は、最近ストレスがたまっている。部下の遠藤が、自分に確認をとらずに業務をすすめていたからだ。部下の遠藤の方も、仕事を任されたという認識があり、自分の裁量ですすめたいという思いがあり不満がたまっている。そんな二人が、相手の立場を思いやったときに、変化がうまれる。部下から上司への報告・連絡・相談を報連相と言い、職場では重要なこととしてよくあげられるが、同時に、上司から部下にも命解援が必要だと言われていることを渡は思い出す。命令(業務指示)・解説・援助を上司が果たすことで、部下も納得して仕事に向かうことができるというわけだ。渡と遠藤は、お互いに歩み寄り、ズレをすり合わせることで相互信頼の力を高め、グレーゾーンに入りかけていたパワハラ状況は回避される。

CHAPTER 4 双方向のコミュニケーションがつくるもの

人は、一人ひとり違うもの。感じ方や考え方の違いは、コミュニケーションのズレを生みます。コミュニケーションのズレを感じたら、きちんとそれを聴き合い、伝え合い、ズレを埋める努力をすること。そうすることでお互いの信頼関係が生まれ、ハラスメントの入り込む余地のない働きやすい職場につながっていくのです。

プロデューサー／中鉢裕幸 企画営業／市村浩之 企画協力／竹内良 千國久美子 脚本／山上梨香 撮影／笠原晋
照明／高橋信二郎 録音／八木重憲 監督・編集／越坂康史
制作協力／オープンアイズ合同会社 企画・制作／東映株式会社 教育映像部

2019年作品 p.

○本DVDは、ご購入いただいた団体(視聴覚ライブラリー・教育委員会・都道府県市町村・事業所等)内での貸出し、非営利上映を行うことを前提とした商品です。
著作権補償金を含んだ価格設定となっていますので、著作権処理を行うことなく、上映会や研修会等でご使用になれます。
○本DVDについて次の行為に該当する場合は、使用の可否や別途料金などについて、必ず当社までご相談ください。
・テレビでの放映・ビデオ・オンデマンド等による配信
○DVDの複製(リッピング行為も含む)、営利目的の上映・貸出し等は固くお断りします。

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区橋本町5-2 〒730-0015 ☎082-511-2066
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101